

平成27年第4回双葉町議会定例会行政報告

平成27年第4回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

9月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

9月19日、第9回市町村対抗福島県軟式野球大会が本宮市しらさわグリーンパークで開催され、10月17日には第2回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。軟式野球、ソフトボールともに1回戦で惜敗しましたが、選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいのプレーに勇気づけられたところであります。

10月20日・21日の両日には、郡山市民プラザ・ビックアイで、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催により、第28回双葉町総合美術展と第2回双葉町民作品展覧会が開催され、多くの素晴らしい作品が展示されました。会員をはじめ出品されました皆さんのご労苦に感謝申し上げます。

10月24日・25日両日には、勿来地区文化協会のご支援により、勿来市民体育館で開催された勿来地区総合文化展において、第2回双葉町民作品展覧会を開催しました。今回は、町立小中学校の児童生徒をはじめ、いわき市、加須市などから町民の皆さんの作品144点が出展され、勿来地区の市民の皆さんとの文化交流を図りました。

10月31日には、幼稚園・小中学校による「梅檀祭」が町立幼小中学校仮設校舎体育館において開催されました。子どもたちが一生懸命練習を重ねた、せんだん太鼓の演奏や英語劇など、学校ごとの演技の発表は、参観された皆さんに大きな感動を与えていただきました。

11月3日には、平成27年度双葉町表彰式を挙行政いたしました。今回の表彰式では、永きにわたり選挙管理委員会委員としてご活躍され、本町の選挙の円滑な執行に多大な貢献をされた2名の方々に功労章を、さらに永きにわたり社会教育委員として町教育行政に貢献された1名、町スポーツ推進委員として貢献された1名、消防団員として永きにわたりご活躍をいただきました3名の方々、町職員7名に永年勤続表彰をそれぞれお贈りいたしました。

さらに、町財政調整基金に多額の金員をご寄附いただきました1社、町立学校の教育振興のため暖房器具、複写機をご寄附いただいた1団体、震災直後より公用車の少ない中、自動車のご寄附をいただいた7社、さらに町の行政事務支援のため文書裁断機のご寄附をいただきました1社に感謝状を贈呈させていただきました。

11月15日には、第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が白河市陸上競技場から福島県庁までの16区間95.1kmで繰り広げられました。今回は、北塩原村で2泊3日の合宿を行い、心をひとつにして大会に臨み、双葉町選手の力走を見せていただきました。選手の頑張りや、町民の皆さんに元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

11月21日には、震災後3回目となる平成27年双葉町消防団秋季検閲式を、町立幼小中学校仮設校舎体育館で開催しました。団長の指揮のもと、閲団と通常点検が行われ、その士気の高さを確認いたしました。

10月14日から11月17日にかけて、福島県内7カ所、福島県外7カ所の計14カ所で町政懇談会を実施し、町民の皆さんが各地に避難しているなか、286人の方々にご出席いただきました。今回の町政懇談会では、「双葉町復興まちづくり長期ビジョン」のほか、除染や中間貯蔵施設、原子力損害賠償などの町政全般について、町民の皆さんから多くのご意見、ご要望、ご質問をいただきました。懇談会で出されたご意見等を、今後の町政運営に反映させるべく検討を深めてまいる考えであります。

野生動物の駆除対策につきましては、8月より環境省と福島県が町内にハコ罠15基を設置し捕獲を行っており、11月末現在でイノシシ55頭を捕獲しております。イノシシ等の家屋等への侵入の被害が増大しており、引き続き国、県に対し捕獲の実施と、罠の増設を要請しているところであります。

10月7日、環境省発注の本格除染仮置き場で使用する遮へい土のうの運搬中に、双葉町内の国道6号でトラックの横転事故が発生し、4時間にわたり通行止めなどの通行規制が敷かれました。このことを町としては重く受け止め、10月13日に丸川環境大臣に対して、議長とともに再発防止等の申し入れを行いました。11月24日に中間貯蔵施設予定地内保管場で使用する遮へい土のうを運搬中に富岡町内の国道6号で追突事故が発生したため、再度事故防

止の徹底を強く求めたところであります。

中間貯蔵施設につきましては、これまで整備予定地内の双葉町保管場への試験輸送で8市町村からの搬入が終了し、12月7日現在5市町村から搬入中であります。

町の復興に向けた取組についてであります。双葉町復興町民委員会における議論を引き続き行っております。これまで、高齢者等福祉部会、町民コミュニティ部会、復興産業等拠点部会をワークショップ形式で各5回、また復興産業等拠点部会に設けた新産業創出分科会を3回開催し、各部会において部会ごとの検討課題や意見等を盛り込んだ最終報告書が取りまとめられました。

これを受けて今後は、復興町民委員会において各部会の最終報告書について議論を進め、双葉町復興まちづくり計画（第一次）に基づく事業計画書、双葉町内復興拠点基本構想、再生可能エネルギー活用推進計画に反映させるための提言書の取りまとめを行っていく予定であります。

また、復興祈念公園につきましては、県が設置した「復興祈念公園あり方検討有識者会議」の第1回目の会合が10月9日に開催され、私も行政委員として出席いたしました。私からは、復興祈念公園の議論を深めていくため、学識者委員が町内の現地視察を行うことと、住民意見反映のために町民から意見聴取を行うことを求め、いずれも要請どおり実施されたところであります。

復興祈念公園の基本構想の取りまとめにあたっては、現地視察の結果や、住民意見を踏まえながら、地震、津波、原子力災害という未曾有の複合災害からの教訓、犠牲になられた方々の追悼と鎮魂、復興への強い意志等をしっかり発信していくことが必要でありますので、復興まちづくりとも連携させながら、多くの方々が訪れる施設となるよう、取り組んでまいる考えであります。

いわき市勿来酒井地区に整備される復興公営住宅の進捗状況につきましては、用地契約をほぼ終えた状況で、平成29年度後期の入居開始に向け、用地造成・建設工事の準備が進められているところであり、10月28日には造成工事の発注公告が行われ、来年1月には施工業者が決定する予定との報告を受けております。引き続き県に対して早期入居が可能となるよう強く求めてまいります。

さらに、勿来酒井地区の木造戸建て80戸分については、準備が整い次第、速やかに入居募集を行うこととなりました。詳細が決まり次第、町民の皆さんに周知を図ってまいります。

町立幼稚園・小中学校の園児・児童生徒数は、平成27年度当初17名でありましたが、12月8日現在で22名となっております。今後も園児・児童生

徒の増加に向けて取り組んでまいります。

最後に本定例会に提案致しました、案件について申し上げます。

専決処分の承認が1件、条例の制定が1件、条例の一部改正が5件、協定の締結が1件、補正予算（案）が5件、合わせて13件となりますので、慎重なご審議を頂き、議決賜りますようお願い申し上げて行政報告いたします。